キラリ★

富山のご当地グルメナンバー１!!

▲優勝トロフィーとパネルを手にする㈲とやまふるさとセンターの職員

県内のご当地グルメナンバー１を決める大会「T－1グランプリ」が８月２４日、県総合運動公園で行われ、市内から出場した㈲とやまふるさとセンターが見事優勝されました。

この日は、県内１０市町１５団体のエントリーがあり、㈲とやまふるさとセンターからは「深層水入白エビどんどん焼き」「深層水入甘エビどんどん焼き」「深層水仕込み油淋鶏」の３品が販売されました。

カターレ富山のホームタウンデーということで、会場には多くのお客さんが詰め掛け、「深層水入白エビどんどん焼き」に多数の票が寄せられました。

８月２７日、㈲とやまふるさとセンターの職員から優勝報告があり、副市長から優勝のお祝いと今後の活躍に期待を寄せる言葉が贈られました。

広報クイズ？

〔問題〕

●日本ジオパークに認定されている地域は立山黒部ジオパークを含めて何地域？

★正解者の中から抽選で、３人の方に次の中から希望の商品をプレゼント。下記の様式で申し込んでください。締め切りは、10月15日㈬必着です。

❶あいらぶ湯入浴券
❷図書カード５００円分
❸キラリンぬいぐるみ

9月号の答え
「ネブタ」流し

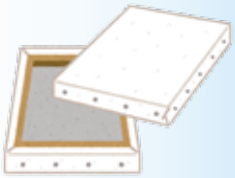
9月号の当選者(敬称略)
斉藤智慧子（菰　原）
植松なつ子（中川原）
氷見たつ子（常光寺）
（34通中全通正解）

郵便番号
住　所
氏　名
クイズの答え
希望のプレゼント
(ご意見･ご感想)

52 9368601
市役所
「広報クイズ」係

聞かせて！おしごトーク

今回のおしごトークは、領家町でパステル画教室の講師をされる、森田 弘華さんにお話を伺いました。



パステル画を始めたきっかけは、パステル画家 志甫 周二さんの個展を見たのがきっかけでした。

パステル画を始めて 30 余年になりますが、自分の指先を使って絵を描く描法が自分のスタイルにとてもよく合っていて、パステル画の世界にのめり込んでいきました。

昭和 58 年に滑川市美術展で奨励賞を受賞したのをきっかけに、さまざまな展覧会に出品するようになりました。平成９年には、フランスのパリで行われたル・サロン展で入賞することができたほか、平成 23 年にフランスのアンデパンダン展にて作品が展示されました。

パステル画の魅力は何といってもその色合いにあります。デザインの世界ではパステルカラーという言葉がよく登場しますが、油絵とは異なり、明るくて淡い色合いが特徴的です。フランス出身の画家、オディロン・ルドンやノルウェー出身の画家、エドヴァルド・ムンクもパステル画を描いています。また、自分の指先を使って描くことから、脳の活性化にもなるんですよ。

今年で 79 歳になりましたが、パステル画の楽しさを一人でも多くの方に知っていただければと、定期的に教室を開催しています。

今後も、生徒さん達と楽しくおしゃべりしながら、個性を見つけ、長所を伸ばすお手伝いになれば、そして、技術を伝え、受け継いでいっていただければと思っています。

編集後記

▼外に出ても快適に過ごせる季節になりました。涼しい風が体を通りぬけると、すがすがしい気持ちになります。新たにスポーツを始めてみようかと思いましたが、夏風邪を患い身体はグッタリ気味。８月の末から３週間経ってもなかなか治りません。職場でもマスクを着用している人やせき込む人がちらほら見られ、季節の変わり目は体調管理に注意しなければなぁと痛感しました。▼10月は特にイベントの多い季節。風邪なんかに負けていられません！栄養ドリンク片手に今日も市内をかけ巡ります。（S）

R80 あなたと市政を結ぶ「広報なめりかわ」は、リサイクル推進のため再生紙を使用しています。